

福山大学は、2009（平成21）年11月4日に発表した「男女共同参画宣言」を広く全学に周知し、本学における男女共同参画を推進しています。その推進のために、2014（平成26）年度から5年間を目途とする福山大学「男女共同参画基本計画」がワークライフ支援室（男女共同参画推進室）における議論・検討を踏まえて策定されました。その最終年度となる2018（平成30）年度において、5年間の取組を評価すると共に、2019（平成31）年度から5年間に亘り取り組む「福山大学男女共同参画基本計画 2019（第2次）」を策定しました。

基本方針

1. 男女共同参画に関する啓発とポジティブ・アクションの実行（Culture）
2. ワークライフバランスを促進するための環境整備と施策の提案（Community）
3. 女性研究者・女性学生の活動支援とキャリア支援（Career）
4. 男女共同参画やワークライフバランスに関するカリキュラムの検討（Curriculum）
5. 他機関及び地域との連携による男女共同参画事業の計画・実施（Consortium）

行動計画

1. 男女共同参画に関する啓発とポジティブ・アクションの実行（Culture）
 - 男女共同参画に関する講演会やシンポジウム等を定期的に行い、構成員の積極的な参加を促す。
 - バランスのとれた教職員の男女比率の実現をめざすため、新規採用ではポジティブ・アクションを実行する。
 - 優秀な教職員を得るために募集要項の改善や広報活動に取り組む。
 - 女性教職員の登用と意思決定組織への参加を積極的に進める。
2. ワークライフバランスを促進するための環境整備と施策の提案（Community）
 - 育児休業や介護休業などが取りやすい環境整備を進めるとともに、周知し、利用度の向上を図る。
 - 仕事と家庭の両立ができるための制度・システムについて調査を行い、充実させる。
 - 教職員の出産・育児・介護に関する各種制度への相談窓口を充実する。
 - 学生の学業と育児の両立を支援する取り組みについて検討する。
3. 女性研究者・女性学生の活動支援とキャリア支援（Career）
 - キャリア教育に男女共同参画やジェンダーの視点を取り入れる。
 - 男女学生が共に幅広い進路を選択することのできる支援体制を徹底する。
 - 学部横断的なプロジェクトを推進し、女性研究者の連携を強める。
 - 大学院生など上級生がメンターとなるように育成に努める。
4. 男女共同参画やワークライフバランスに関するカリキュラムの検討（Curriculum）
 - 男女共同参画に関するカリキュラムについて全学的に検討する。
 - 男女共同参画に関するカリキュラムを開講し、広く学内外に公開する。
 - ジェンダーの視点を取り入れた教育研究活動を奨励する。
 - ワークライフバランスの視点を取り入れた教育研究活動を奨励する。
5. 他機関及び地域との連携による男女共同参画事業の計画・実施（Consortium）
 - 男女共同参画に関連する公開講座やセミナーを開講し、教職員・学生や市民が広く学ぶ機会を提供する。
 - 自治体や他大学との情報交換を積極的に行い、男女共同参画の取組について連携を進める。
 - 高校等に対して、男女の進学率に偏りがある分野を中心に、進路選択に関わる情報提供や支援を行う。
 - 男女共同参画の先進諸外国の取り組みや状況に関する情報を広く学内外に提供する。